

団体交渉議事録（要旨）

1 日時等

令和4年（2022年）2月7日 17時55分から18時30分 2-5会議室

2 出席者

- (1) 宝塚市教職員組合 2名 書記長、書記次長
- (2) 教育委員会事務局 3名 管理室長、職員課長、職員課副課長

3 議題

令和3年度末人事異動に関する申し入れ

4 内容

- (1) 確認 地方公務員法第55条の規定に基づく団体交渉の確認
- (2) 申し入れ

【書記長】

年度末人事に向けて、我々組合としては、希望と納得の人事ということを望んでいる。昨年度、いくつか課題があった。例えば、中学校において、学年の担任のほとんどが異動となってしまったケース、小学校においても多数が異動となり、学校の継続性が保てなくなってしまうケース、また、職員の家庭生活を破壊するような異動があったと訴えがあったケース、人事が直接的な原因ではないかもしれないが、異動が引き金となって退職をする職員が出たケースなどである。このようなことがないように、教職員の立場も考えた人事異動をお願いしたい。各教職員に希望をとっていただいて、しっかり聴いていただいていることには感謝する。納得という部分においては、事前通告時または内示の際に、学校長から丁寧に話をしていただき、4月から教職員が気持ちよくスタートを切れるようにご指導いただきたい。作業中に呼ばれて廊下等で告げるということがないようにしていただきたい。

【職員課長】

昨年、人事異動について課題を出していただく中で今申し入れされたことは課題として認識している。学校運営上問題がないように異動を進めていきたいと考えている。昨年度の経過の中で結果的に大量異動になってしまった学校があったが、極力学校運営に影響がないように、より良くなっていくように考えていきたいと思う。

【書記長】

中学校は、学校事情が主な配慮事項なので、そこについては職員課の方で考えていただきたい。ただ、中学校について、同一校 10 年を超えている職員が多数いる。我々としては 10 年を超えるのはよくないという認識を持っているが、そのあたりどの考えておられるか。

【職員課長】

基本的には 10 年は長いと考えている。中学校は、教科の絡みが大きいののでその問題がある。徐々に解消していきたい。中長期的視点をもって取り組みたい。

【書記長】

最後に今年度の今後のスケジュールについて教えていただきたい。

【職員課長】

昨年並みと考えている。大まかな日程は決まり次第お伝えしたい。

【書記次長】

臨時講師や会計年度任用職員の任用についてはどうなるか。

【職員課副課長】

昨年よりも早いスケジュールで進んでいる。本日から小学校の臨時講師、再来週ぐらいから中学校の臨時講師の手続きができると思う。

【副委員長】

ぜひとも雇用の継続をお願いしたい。